



令和3年5月1日

市政記者クラブ 様

東 山 綜 合 公 園
担当 動物園 内藤・白木
電話 782-2111

ツシマヤマネコの赤ちゃんが2頭うまれました

東山動植物園で飼育しているツシマヤマネコのメス (No.89) が令和3年4月30日に2頭の赤ちゃんを帝王切開で出産しましたのでお知らせします。

ツシマヤマネコの飼育下繁殖については、環境省と(公社)日本動物園水族館協会が「生物多様性保全の推進に関する基本協定」に基づいて取り組んでいます。

記

1 出産の状況

- ・4月30日午前0時30分ごろ、メス (No. 89) は落ち着きが無くなり、午前1時30分ごろから、陣痛やいきむ様子を確認した。
 - ・午前3時ごろから、強い陣痛を断続的に確認し、午前4時45分ごろから間隔が短くなるも、午前8時ごろから陣痛やいきむ力が弱まってきたことを確認した。
 - ・午前9時ごろ、環境省と相談のうえ帝王切開を選択した。
 - ・午前9時26分、帝王切開手術を開始し、午前9時33分に第一仔、9時35分に第二仔が誕生した。
- ※現地点で性別不明

2 両親

個体No.	愛称	性別	年齢	来園日
No. 89	レイラ	メス	2歳 (2019年4月15日 福岡市動物園生まれ)	2019年11月13日
No. 83	勇希(ゆうき)	オス	3歳 (2017年5月11日 京都市動物園生まれ)	2019年11月14日

3 出産に至った状況

- (1) 交 尾 2021年2月24日～2月25日
- (2) 妊娠確認 2021年4月20日 X線撮影により妊娠を確認
- (3) 出 産 2021年4月30日 (最終交尾から64日目)

4 誕生した仔について

- ・2頭の体重はそれぞれ99g、90gです。
- ・現在人工哺育で経過観察中です。公開については未定です。

【参 考】

■東山動植物園のツシマヤマネコ飼育頭数（今回の繁殖個体を除く）

3頭（オス2頭、メス1頭）

■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

9施設27頭（オス13頭、メス13頭、不明1頭） ※令和3年4月28日現在
（今回の繁殖個体を除く）

■ツシマヤマネコについて

長崎県の対馬だけに分布する野生のネコであり、ベンガルヤマネコの亜種とされています。野生での生息数は90または100頭程度と絶滅が心配されており、国の天然記念物で、平成6年3月に国内希少野生動植物種に指定されました。体長約50～60cm、体重約3～5kgの大きさと、体全体の斑点模様、額の縞、太く長い尾や耳裏の白斑（虎耳状斑）が特徴です。主に森林に生息していますが、田や畑でネズミやモグラなどを捕食します。絶滅危惧IA類（環境省レッドリスト2020）。

【写 真】

■ 生まれた赤ちゃん（4月30日撮影）



■ 赤ちゃんの両親



父親：No.83 勇希（ゆうき）



母親：No.89 レイラ